

SGH 通信

高知県立高知西高等学校

〒780-8052 高知県高知市鴨部 2 丁目 5 番 70 号

TEL 088-844-1221/FAX 088-844-4823

H28. No.3

URL: <http://www.kochinet.ed.jp/nishi-h/>

2016.6.22

～1 年生の取組～

第 5 回グローバル探究Ⅰ 「表現方法を学ぶ」ワークショップ

5月18日(水) <株式会社わらびの> 畠中智子さんを講師にお招きして、「表現方法を学ぶ」ワークショップを行っていただきました。

A4用紙、水性ペン、付箋、模造紙を使ったコミュニケーション・グラフィックを通じて、ポスターのまとめ方やプレゼンテーションの方法を学びました。1対1でインタビューをした後、そこで得た情報を他のメンバーに他己紹介という形で伝え、グループ全体で情報をまとめます。

ガヤガヤとした中でのグループワーク。畠中さんは、このガヤガヤとして話し声が大きくなっている状態が、心がくつろぎ本音が出て、リアリティのある計画をたてることができると伝えてくださいました。

これから様々な年代の地域の方々にインタビューする機会が増えてくる生徒たちに、一番大切なことは好奇心を持つこと、誰かに意見を求めたいとき、まずは体験したことを聞き、そこから掘り下げていくと良いということをお話いただきました。



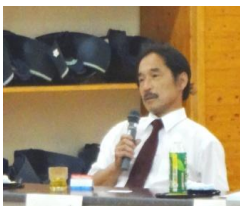
株式会社わらびの 代表取締役 畠中智子氏



第 6 回グローバル探究Ⅰ 「高知県が抱える地域課題の今を知る (2)」パネルディスカッション

5月25日(水) 高知の食に関わる4名の講師をお招きして、「高知県が抱える地域課題の今を知る (2)」と題してパネルディスカッションが行われました。それぞれの事業内容などをお話いただいた後に、座談会形式で高知県が抱える様々な社会課題と、それに対する取り組みについてお話しいただきました。

講師の先生方



有機 JAS 認定農家テレサファーム

大森行彦氏

<有機 JAS 認定農家テレサファーム>大森行彦さんは、品種登録した農家しか作ることができない特別な生姜を作り、展示会に出続けるなどして都会に販路を拡大していったこと、オーガニックのものは需要があり収入は毎年上がっていることなどをお話しいただきました。生徒に「料理をしますか？」と質問し、料理をすることで「食」について考えてほしいと伝えてくださいました。

<高知暮らしの楽校>松田高政さんは、食の六次産業プロデューサーとして、生産者と販売者それぞれのニーズを結びつけ、新しい付加価値を生み出す取組をされています。地元で利用されていない食材を他の地域に紹介することで、売る側と買う側どちらからも喜んでもらっているという事例の紹介から、どこで何が求められているかをリサーチすることが大切だということをお話しいただきました。



高知暮らしの楽校 代表取締役

松田高政氏



丸共味噌醤油醸造場 女将
竹中佳生子氏

〈丸共味噌醤油醸造場〉竹中佳生子さんは、地元須崎を盛り上げるために商店街で開催しているイベントや、須崎の観光資源についての話をさせていただきました。販路の拡大など、変えていかないといけないこともあるが、大正時代から続いている、地元のお客さんが愛情をもってくれている味を守っていくことも大事だとお話しされました。

〈上町池澤本店〉池澤秀郎さんは、明治時代から続く魚屋さんの5代目で、お店の2階で食堂を開店したり、SNSを活用して情報を発信したり、加工品をつくったりと、たくさんの人に魚屋にきてほしい、子どもが来て楽しい店にしたいと、様々なことに取り組まれているお話をしてくださいました。生徒からの「知られていないものを知ってもら（売）にはどうすればよいか？」という質問に、適切な場所で適切な方法で売ると売れるが、商品によりその方法は様々で、これを探ることがむずかしいとお答えいただきました。



上町池澤本店 代表取締役社長
池澤秀郎氏

〈生徒の感想より〉

私が最も印象に残ったのは、地元で当たり前になっていることの魅力にはなかなか気づかないということです。なぜならば、高知には他の産地で作られているよりも品質の良いメロンやたくさんの魚などがあるのに、私はそれをよく知らなかったからです。高知は田舎で何もないと思うけど、実は多くのいいところがあり、それらを県外や海外にアピールしていくことが大切だと分かりました。

〜2年生の取組〜

第5回グローバル探究Ⅱ 「各探究グループによるテーマ設定①」

5月27日（金）各グループでディスカッションを行い、探究テーマを決定していきました。6月24日、各教室でのプレゼンテーションに向けて、話し合いが進みました。



地震と食を探究テーマに考えているグループでは、NHK 高知支局の深澤知華さん、黒潮町役場産業推進室の友永公生さんをお招きして、講義を行っていただきました。話を聞きながら、配られたレジュメに分かったことなどメモを取っていく、大学の授業のような講義が行われました。



NHK 高知放送局 記者 藤澤知華氏

2010年より岩手県の盛岡局に配属され、東日本大震災を経験し、その後、高知へと配属された深澤さん。震災直後の主な取材テーマ、食という角度から捉えた震災について、生徒一人一人に様々な質問をしながら話していただきました。

黒潮町役場 産業推進室 産業推進係長 友永公生氏

黒潮町役場で災害復旧や防災の担当を長い間務められた友永さん。東日本大震災の際にも早い時期に現地に入って被災地調査をされたそうです。復興のあり方や、黒潮町の防災のまちづくりなどの取り組みについて、お話しいただきました。

大阪リサーチ参加生徒募集のお知らせ

日 時 8月1日（月）8：00西高校出発 8月2日（火）20：00頃 西高校帰着
訪問場所 高知県地産外商公社 大阪大学 サントリー・グローバルイノベーションセンター 米総領事館（交渉中）
対象生徒 1年生20名程度 2年生10名程度
申込締切 7月11日（月）詳しくは配布された募集要項を見てください。